

“土はいのちのみなもと” の地域づくり

松本大学地域志向教育研究費による「特別講演会」

[講師]



山形県長井市のNPO法人レインボープラン市民市場「虹の駅」理事長
アジア農民交流センター（AFEC）共同代表

菅野芳秀氏

[日時] 平成26年 **10月25日(土) 15:00**～(開場14:30)

15:00～16:30 講演

16:30～17:00 参加者との交流・ディスカッション

[会場] **松本大学 633教室(6号館)**

入 場 無 料

■講演趣旨

菅野氏は、山形県長井市において市民全体で取り組む生ごみ循環システムであるレインボープランの立ち上げにあたって中心的な役割を担ったかたです。現在もNPO法人レインボープラン市民市場「虹の駅」理事長として「地域循環」、「ともに」及び「土は命のみなもと」の三つの理念を基本とした活動を展開し、山形県置賜地方(三市五町で構成される地域)を食と農とエネルギーの「自給圏」にして行こうという置賜自給圏構想を考える会の活動にも尽力されています。

松本大学人間健康学部健康栄養学科では、平成21年度に菅野氏をお迎えして特別講演会を開催し、その後に続いた山形県長井市への視察は、本学健康栄養学科でのささやかな生ゴミ循環システムづくりの活動へとつながりました。平成23年度に大学教育GPのまとめとして開催したGPフォーラムでもシンポジストを務めていただき、学生へのエールをいただきました。

今回、再度、菅野芳秀氏をお招きしてご講演いただくとともに、松本大学学生と地域の皆さんとで地域・コミュニティづくりについて考える場を設定いたしました。



菅野芳秀氏からのメッセージ

1949年 山形県長井市で生を受けました。
191cm、100kgほどある大男ですが、気立ては優しいですよ。
農業だけで暮らす専業農家です。
息子と二人で、水田4hと放し飼いのニワトリを1,000羽ほど飼っています。

健康な玉子を得るためですが、あわせて田畑とニワトリとの循環を心がけています。30代後半から長井市で行われている「レインボープラン」という、農を基礎とする循環型社会づくりに取り組んできました。

ときどき小学校に行き、「土よりの使者だあ。」などといって話をしています。

いまはその延長線上で、山形県の1/4の地域、置賜地方(三市五町)を食と農とエネルギーの「自給圏」にして行こうと計画し、たくさんの業界、多くの人々とともにがんばっています。他にはアジアの農民と広くつながって行こうという主旨で作られた「アジア農民交流センター」の共同代表もしています。

大きな男を見に来るだけでも話の種になります。ぜひ、おいでください。

[著書] 「生ゴミはよみがえる」(講談社)
「玉子と土といのちと」(創森社)
「地域が主役だ」(共著・社会評論社)
「台所と農業をつなぐ」(共著・創森社)
など

ご参加方法

事前に、住所・氏名・お勤めのかたは勤務先・連絡先電話番号を明記の上、FAXで下記にお申し込みください。定員(80名)になり次第、締め切りとさせていただきます。

【送付先】FAX 0263-48-7290 「松本大学地域志向教育研究費による特別講演会」担当 廣田宛

お問い合わせ先

TEL 0263-48-7322

(松本大学人間健康学部健康栄養学科 廣田直子研究室)



学校法人松商学園

松本大学

〒390-1295 長野県松本市新村2095-1

www.matsumoto-u.ac.jp

松本大学

検索